

7・メイドコスで濃厚主従えっち

1からそのまま続ります。

トワ、主人公をベッドの方へ導く。

最初5秒ほど無音。その後セリフ。

●中央

「『さあさあ』が縮まり『ささ』になる】

ささ♥ そこの天蓋付きベッドにおかけ下さい♥」

SE1：主人公がベッドの上に座る音

【すべて流す。音量小さめに】

SE2：トワが、主人公の膝の上にまたがる音

【頭から流す。0—1秒目の、一回目の『ぼすつ』のみ流す】

●上

【主人公の膝の上に乗りながら】

「それで♥ トワはこうやって♥ ご主人様のお膝に乗っちゃいまーす♥
わーい♥これでご主人様独占ですう♥」

主人公、真っ赤になつてトワを見上げている。

対するトワ、主人公が予想以上に喜んでくれているようなので嬉しい。
『嬉しい！ 今日は何でもやつちやいますマジで♥』と思つてはいる。

●中央

「ちなみに本日設定としてはあ♥ あのえつちな映画にならう感じで♥
アナタはとある大企業の次期当主で♥

とってもとっても偉いけど。

それ以上にえつちなことに超興味津々な変態さんで～す♥

対するトワメイドは♥

日々高ぶり続ける、アナタの若き欲望を満たすため選ばれた♥
いわばえっち専用メイドです♥

そして今日はいよいよえっちメイドとしての初仕事♥ 的な♥
なのでトワのことは。

【『トワ』を芝居がかつてコミカルに言う。目上が目下を呼ぶような、偉そうな口調で】
『トワ』と呼び捨てで♥ 偉そうな感じでお呼び下さ〜い♥』

〈主人公〉
「とわ！」

●中央
【主人公がノつてきたので嬉しい】

そうや〜す！

●右
ささやく
【ささやく】

つまり今日は♥ トワメイドとアナタご主人様の初えつち♥ です♥』

トワ、本日のイメージプレイの設定として語りながらも、自分の過去を思い出してしまった。
『トワとアナタの初えつち。それはなんと素晴らしい思い出だつたことか……』『あの頃のトワはウブでしたねえ……』と思いまげられているうちに、なんだか本当に今日が初めてのえつちのような気がしてくる。

『いや、イメプレが初めてなのは間違いありませんがあ……。じゃあ、やっぱりこれは初えつち？』と、どんどんキドキしてくる。

つまり、役を演じるうちに、役に飲まれつつある。

メイド服と洋館風ラブホテルというアイテムが、トワをどんどんメイドにしている。

●中央

「だけどトワメイドのラブ度はすでにマックスです♥
それは。元々ご主人様にお仕えする身で♥ 片想いしてたので♥
ずっとこの日を待ってたからです♥

●右
ささやく
【ゆっくり、いやらしくささやく】

毎日アナタを思つて♥ アナタにめちゃくちゃにされる妄想しながら♥ オナニーしてた

んですよ♥

●中央

だから♥ ご主人様の欲望のはけ口になれることが♥
とくつても嬉しいんです♥』

〈主人公〉

「わたしも……わたしも嬉しいよ……！ トワ……！」

●中央

「うふ♥ バ○主人様♥ だ〜い好き♥

●左

【優しくささやく】

……キスしてもいいですか?」

〈主人公〉
「うん……♥」

●中央

【ゆつくり、重ねるだけのキスを深めに一回】

●左

【優しくささやく】

好き♥」

〈主人公〉

「わたしもだいすき……♥」

●中央

【※20秒※ ほど、優しく、ゆつくり目の甘いキス。だんだん深くなる】

ん……♥ ん♥ ちゅ♥ ん♥ んう……くちゅつ♥ れろつ……くちゅつ♥ ちゅつ♥
ちゅぱつ♥

【※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……はあ……♥」

そこで主人公、トワと密着してキスしながら、あることに気づく。

トワの服の胸のところ。いわゆる『乳袋』から、何か突起物が当たっているような感触があるのだ。

つまりそれは……。

主人公、薄い布の下にあるもののことと思うと、気絶しそうなほど興奮してしまう。

〈主人公〉

「あの……トワちゃん、あの……」

●中央

「優しく。『なあに?』という感じで
ん?」

●左 セリフ終わりまですべてささやく
【優しくささやく】

あ♥ 気付いちやいました?

ご主人様が♥ すぐぐいたずらできるようにな♥

【この『ちゃんとノーブラ』だけ、ひときわゆつくりささやく】

ちゃんとノーブラ。

ですよ♥

胸元のここ♥ くいって下ろしたら♥

ご主人様のだくいすきな生おっぱい♥

見えます・よ♥

主人公、大興奮でトワの胸を凝視している。

トワ、主人公に露骨に性的な目を向けられ、興奮するとともに、とても嬉しくなる。

トワ、おふざけのメイドコスだったのに、なんだか真剣に嬉しい。

優しく繊細でストレスをためやすい主人公の欲求のはけ口に、今日はなれているのだと
思うと『メイド服買つてよかつた!』という気持ちになつてくる。

〈主人公〉

「見たい……。トワの生おっぱい。見せて……?」

●中央

「[バ]くつ。とつばを飲み込むほど興奮して【

うん♥ いいよ♥

●左 サヨク
【優しくささやく】

トワのおっぱいは♥ ご主人様専用のおっぱいですよ♥」

SE3：主人公がトワの服を、胸の部分だけ脱がせる音
【頭から流す。0—3秒ほどまで流す。】

具体的には、このあたりに入つてしまつている『コカツ』という雜音の手前程度まで流す【

トワ、胸の部分だけ優しく引っ張りおろされ、胸だけ露出した状態になる。

●中央

【脱がされて、自分でも意外なほど恥ずかしくなる】

あつ……♥

【3回分、興奮した浅い呼吸をする】

はあ、はあ、はあ♥

【余裕がついているが、すでにかなり恥ずかしい】

ああ……♥

【照れ笑いする】

おっぱい。見られちゃった♥

〈主人公〉

「トワ。おっぱい触りたい……。いいかな……？」

●中央

【興奮を抑えようと、ゆっくり呼吸をする】

はあ……はあ……♥

うん♥ いいよ♥ アナタはご主人様なんですから♥

●左

ささやく

【甘えた口調でささやく】

ちゅきなだけもみもみして♥

主人公、トワの胸を揉み始める。

●中央

【ひとりきわ高い声が出る。胸を揉まれ始めて、自分でも驚くほど感じてしまう】

あ♥

【感じすぎて、思つたように声が出せない】

あつ♥ あつ……♥ ああつ♥

【でも、あ♥】で乳首を触られる。なんとか話そつとするが、うまくいかない】

ご主人様のお手手可愛い……♥ でも、あ♥ やらしい♥ はあ、はあ、はあ……あつ♥

【ひとりきわ高い声が出る】

ああつ♥

【乳首を軽くつままれて】

えつちゅ……♥

もみもみつ♥ あ♥ お上手♥ んつ♥ ですねつ♥

【乳首を軽くつままれて、びくつとする】

んうつ♥

【荒い呼吸を整えようとすると、うまくいかない。途中で喘いでしまう】

はあ……はあ……はあ……ああつ♥

【まさか胸だけでこんなに感じてしまうとは思っていなかつた。完全に想定外で、混乱し始める】

ご主人様、すごいよお♥」

〈主人公〉

「えへ……。トワのお乳。先っぽ、かちかちになつちゃつたね？ ピンクで可愛いよ……♥」

主人公、やはり『ご主人様』扱いされるのは大きく、普段より積極的になる。何よりも胸だけ露出させられたトワがあまりにもいやらしいので、どんどん興奮してしまふ。

●中央
【主人公に言葉攻めされ、想像以上に恥ずかしくなる】

えつ♥

【荒い呼吸を整えようとすると、うまくいかない】

はあ……はあ……はあ……はあ……♥

【甘えた声で認める】

うんっ。ご主人様がすげべなお手手でもみゅもみゅするからあつ♥

トワ気持ちよくてつ♥ 乳首おつきしちやつたのつ」

〈主人公〉

「じやあ、もつとしようね。もつともつとかちかちになつたら、つまんであげるね」

●中央
【もまれるだけで乳首をいじつてもらえず、もどかしくなる】

ああつ♥ んつ、ん♥ あ……♥

【懇願する。当初はいつも通りリードするつもりだったのに、すっかりMモードに入りつつある】

ね、いじつて？ おつきしちやつた乳首ころころつて。すりすりつてして？
ちゅうちゅうして、ご主人様のお汁でどろどろにして？
もみもみだけじや切ないよお」

〈主人公〉

「ふふ……♥ こうかな?」

●中央

【ひとりきわ高い声が出る。すぐく気持ちいい強さでつままれ、めろめろになる】

ああっ♥

【※10秒※ ほど喘ぐ。心地よい強さでつままれ、ゆっくりした呼吸でじっくり感じている】

る】

あつ♥ いい♥ はあ……はあ……ああ♥ はあ、はあ。あああ♥

【甘えた声で認める】

ご主人様つ♥ いいつ……♥ すうぐ気持ちいいよお♥』

トワ、主人公にゆっくり、やさしく、たっぷり攻められて、完全に受けモード、Mモード。『最近トワが攻める』ことが多いので忘れそうになつてましたけど。この人、ラブラブまあまじつとりセック超上手いんでした……♥』と思い出し、胸の愛撫だけでとろけそうになつてくる。

●中央

【※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整えるが、結局次でまたいっぱい喘いでしまう】

はあ……はあ……はあ……はあ……♥

【またひとりきわ高い声が出る】

あ♥

【どんどん余裕がなくなる。すっかり夢中で、されるがまま胸を愛撫され続ける】

ん♥ あつ♥ はあ……はあ……はあ……ああつ♥

ご主人様あ。そんなこりこりだめえつ。

トワのここ、もっとおつきしちやうつ♥ きもちいい♥ トワ感じちゃうよう♥

あつ♥ いいつ♥ おっぱい気持ちいいよお……♥

【乳首を吸われてうれしくてたまらない】

ああ♥

【うまく話せない】

えへ……♥ トワのおっぱいおいしい? た♥ くさん♥ んつ♥ 飲んで♥ あ♥

ねつ?

【好きなだけ】が途切れで『好♥ きなだけ』になる

はあ、はあ♥ ご主人様のちゅうちゅうもつ♥ こりこりも♥ すうぐいいよ♥

好♥ きなだけつ♥ してねつ♥

「」

主人公がここで一度顔を上げて、キスをする。

●中央

【※15秒※】ほどキスされる。されるがままの濃いキス】

んっ！ んんう♥ んんっ！ ちゅるる……ちゅつ♥ んんうつ♥

【乳首をいじられ、びくんびくん感じてしまう】

あつ♥ やああん♥ こりこり好きつ……好きいつ♥ ああつ♥

【※7秒※】ほどかけて荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……はあ……

【攻めがやんだので、不思議そうに】

……♪主人様？

【軽くキスされる】

ん♥』

〈主人公〉

「トワ♥ ご主人様、トワにお願いしたいことがあるんだけど……」

トワ、主人公に優しくお願ひされて、なんだかホントする。

『てっきり欲望ガンぶつけられ系セックスになると思つてたのにこんなのがやばい！物腰柔らかい、従者を大切にする系ご主人様とじつとりラブアマアマセックスするつてシチュエーション、めちゃめちゃ感じちゃうんですけどお……』と、すっかり興奮している。

主人公を癒すつもりだったのに、もう完全にイメージプレイにのめり込んでいる。

●中央

【まだ呼吸は荒いが安心して、甘えた口調で】

はあ、はあ♥ なあに？」

〈主人公〉

「トワのスカートの中。どうなつてるのか見せて？

ところどころだつたら、わたし、気持ちよくしてあげたいな」

●中央

【そう来るとは思わず、恥ずかしくなる】

えつ♥

スカートの中、です？

【こうは言いつつも興奮している】

……♪主人様のえつち……♥』

〈主人公〉

「どうなつてゐるのか。スカート上げて。見せて……♥」

トワ、ここで主人公がまた恥ずかしいところだけ露出させたがつていてると察する。
『えつちすぎ……』『主従えつちやばい！ 優しくえつちな命令されるのやばい！』と思
いながらも、喜んで従つてしまふ。

●中央

【荒い呼吸で】

はい♥ わかりました……♥ トワ。スカート自分でめくつて ♥ 持つてますから ♥ 中、
見て下さい♥」

S E 4 ..トワがスカートを、自分でたくし上げる音
【途中から流す。8—12秒ほどまで流す】

●中央

【※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……はあ……♥

【甘えた、いやらしい声で】

ぱんつも。見られちゃつた♥

はあ、はあ♥ ご主人様はつ♥ はあ、はあ♥ 変態さんですね♥
こんなにやらしい方だつたなんて♥ 知らなかつたですう♥

【※7秒※ ほどかけて荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……♥

おっぱいと。ぱんつだけ、見えちゃつてる。

こんな恥ずかしい格好♥ ご主人様にしかつ♥ 見せられませんつ♥」

〈主人公〉

「トワ、可愛い……♥ すつぐ濡れてるね。すゞいね？」

ぱんつに染みができて、色が変わつちやつたね？」

●中央

【甘えた、いやらしい声で】

うん♥ 濡れてるつ♥ ご主人様大好きで♥ いっぱい触つてもらえて嬉しいからつ♥
トワのぱんつの中♥ とろとろのぐちゅぐちゅになつてます♥

【少し間を置いてから】

ねえ
♥ 見て……？」

トワ、我慢できなくなり、自分で下着に手をかけ、パンツを下ろす。

SE5 .. トワが下着を、自分で脱ぐ音

【S E 3と同じ音。途中から流す。】
18||22秒ほどまで流す

中央

「ご主人様あ、
♥」

〈主人公〉

卷之三

SE6 ..主人公がトワの股間に触れる音
【すべて流す。音量小さめに】

10

触ってもらえて嬉しくてたまらない

SE7 ..主人公がトワの股間をいじる音
【頭から流し、393まで流す。音量小さめに】

【甘えて】

うん♥ だつてご主人様。えつち上手いからあ♥
トワ、きもちくて。もお変になつちやつたのつ♥
【※20秒※ ほど、ゆつくり静かにあえぐ。ゆつくり愛撫されているので余裕がある】

〈主人公〉

「トワ、可愛い……」うしてたら、もっと濡れちゃうね「♥」

主人公の左耳側から話している形になる。

●左 至近距離

【主人公に抱きつきながら】

うん♥ ああ♥ これっ♥ きもちいから♥ もうとぬるぬるつ♥ 溢れちゃう♥

〈主人公〉

「じゃあ。なめなめして綺麗にしようか」

トワ、これを聞いて、ベッドに入り、座つて舐めてもらうのだと解釈する。

ここでSE7をフェードアウトする。

●左

【通常のクンニをしてもらうのだと思つている】

うん♥ なめなめして♥ トワのぬるぬるおまんこ♥ なめなめして♥

〈主人公〉

「そしたら、もう一回スカート持つて？」

トワ、これを聞いて、抱きつくのをやめる。顔が、主人公の正面に戻る。

●中央

【状況がよく呑み込めない】

ん？ スカート、もう一回めくるの？ ハラ？

SE8：トワが自分のスカートを持ち上げる音

【SE4と同じ音。途中から流す。25—30秒ほどまでを流す】

〈主人公〉

「そう。そのまま♥ わたしのお顔のところにおいで」

●中央

【驚く】

あつ……？ バー主人様のお顔、乗るの？

——

〈主人公〉

「いやかな?」

●中央

【必死で否定する】

ううんっ! やじやないっ♥

【でも、は、恥ずかしいよお】が『でもは、恥ずかしいよお』になる】

でも、は、恥ずかしいですよう。ご主人様のお顔におまんこ押し付けるなんてっ♥

【思わず素に戻ってしまう】

そんなの、したことないしつ♥】

〈主人公〉

「じやあ、やめておこうか。トワが嫌なことはしたくないし……」

●中央

【懇願する】

やだっ♥ やめちややだっ♥ するっ♥ するからあ♥

ぺろぺろしてっ? トワのおまんこ♥ お顔で受け止めて♥ なめなめして下さい♥】

SE9..主人公がベッドに横になる音

【途中から流す。8—14秒ほどまで流す】

SE10..トワが主人公の顔の上にまたがる音

【頭から流す。0—1秒ほどまで流す。音量小さめに】

ここから509まで、少しこもつた印象の音になる。

トワ、初めての顔面騎乗に挑戦する。

ドキドキと興奮しつつも『確かに、乗られている側が本当に苦しくならないように、ギリギリの高さにお股沈めるんでしたよねえ……?』と、おつかなびつくりで、主人公の顔に股間を沈める。

結果、愛撫をやめれば、主人公がなんとか会話できる高さになる。

●上
【主人公の顔の上に股間を下ろしながら】

ああっ……♥

【照れ笑いする】

えへ……♥ トワメイドなのに♥

「ご主人様に顔騎（がんき）しちゃいました♥

いけないメイドさんでつ♥ えつち大好きでつ♥ ああつ♥ 「ごめんなさい♥」

SE11：主人公がトワの股間をなめる音

【頭から流す。481まで繰り返す。セリフの邪魔にならないように小さめの音量で】

●上

【舐められ始めて】

んっ♥ ……ああつ♥ はあ、はあ、はあ♥ あつ♥

「ご主人様あ♥ ぺろぺろきもちい♥ 気持ちいいです♥

【普通に話そうとするが、感じるあまり喘いでしまう】

あ♥ 「ご主人様のベロと息がつ♥ んんつ♥ トワのクリちゃんに当たつて♥ いいつ♥

気持ちいいですつ♥」 ※ここでSE11がストップ。

SE12：主人公がトワの股間をなめる音2

【頭から流す。494で一度止まつた後、再開し、519まで繰り返す。セリフの邪魔にならぬ
いように小さめの音量で】

●上

【声が甘く、高くなる】

あ♥ あ♥ あつ♥

【するように】

「ご主人様あ。トワ、きもちくてお股動いちやう。クリぺろきもちいよう♥ あ♥ あ♥」

〈主人公〉

「トワのおまんこ、おいしいよ」

●上

「おいしいなんてつ♥ やだあ♥」

〈主人公〉

「いっぱい気持ちよくなつてね。気持ちよくなつてるとい、わたしに見せて？」

●上

「うん♥ 頑張る♥ ぺろぺろ嬉しいからトワ頑張る♥

【もはや完全に理性を失い、喘ぎながら話すのが精いっぱい。】

あ
♥
「主人様のベロでいくといつ
あつ
ちやんと
見てもらひえるように頑張り
ます
♥

【必死に浅い呼吸をする】

はあ、はあ、はあ、はあ
〔声が甘く、高くなる〕

ああっ♥

【なんとか主人公を喜ばせようと、いやらしいことを言う】

トワつ♥ んつ♥ ジ主人様のお顔につ♥ あ♥ おまんこつ♥ 乗せてつ♥

『はしたなく』と言おうとして途切れ途切れ『は

【『びくんびくん♥』を甘つたるく】

びくんびくん♥ つてイケるようにな♥
♪主人様のベロにクリちゃん押し付けてっ♥ 一生懸命腰ふりふりします♥

二十一

SE13 ..トワが自分のスカートを持ち上げる音

上

「あわわくなつてゐる声。」 あゝ、ちやんといふ、聞いておひがつために、

下のお毛々（けけ）はつきり見えるくらいにして♥ ペロペロしてもらいます♥」

S E 14 .. 主公がトツの股間をなめる音 3

【頭から流してループする。547で速度が上がり、559まで繰り返す。セリフの邪魔にならないように小さめの音量で】

上

【うつとり、幸せそうに】

【※30秒※】 トワすつごく気持ちいいよ♥ ご主人様のベロでイけるの、嬉しいよ♥ ほど喘ぐ。感じすぎて、ほとんど泣いている。甘々な、可愛くて高い喘ぎ声

卷之三

う♥ ああ……いいつ♥ 好きつ♥ あ♥ あ♥ あつ♥

【絶頂が近くなる。声が甘く、高くなる】

ゞ主人様好きいつ。好きつ♥ 好きつ♥ 好きつ♥

※ここでSE14の速度が若干上がる。

【※20秒※ ほど喘ぐ。声が低くなる。イキたいが、まだセックスしてみたいので、ゆつくり呼吸して耐えようとする】

あ。うつ、あつ♥ ああ……ああ……ああ♥ ああ。ああ、あ♥ はあ……はあ……はあ……はあ

……はあ♥

【いくのを悟る。ほんと泣いている】

ああ……♥ イ……く♥

【絶頂しそう。やや早口になり、ほんとしゃくりあげている】

ご主人様トワイくつ♥ もういくつ♥ イつちやうのつ♥

好きつ♥ 好きつ♥ 好きつ♥

【声が低くなる。必死で大きな声にならないように耐えるような絶頂の仕方】

ああつ。……いくつ……♥】

※ここでSE14がストップ。

SE15 ..トワが、力なくベッドに倒れ込む音

【途中から流す。13—16秒ほどまで流す。音量かなり小さめに】

トワ、絶頂して倒れ込み、主人公から見て右側へ倒れる。

●右

【※15秒※ ほどかけて、ゆっくり荒い呼吸を整える】

はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……♥

【甘えて、可愛く。目に涙をにじませている】

ゞ主人様♥ 気持ちよかつたよお♥】

SE16 ..主人公がトワに覆いかぶさる音

【途中から流す。3—6秒ほどまで流す。】

●中央 至近距離

【唇を重ねるだけのキスをする】

ん♥ ちゅつ♥

【甘えて、可愛く。目に涙をにじませている】

好き♥ だい好き♥ ……いっぱい可愛がってくれて♥ ありがとう♥ 「

このまま、フェードアウトしてトラック終了。